

2020年8月7日

各位

会社名 新報国製鉄株式会社
 代表者名 代表取締役社長 成瀬 正
 (東証JQ・コード 5542)
 問合せ先 取締役総務部長 成島伸一
 TEL 049-242-1950

第2四半期業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2020年2月7日に公表しました2020年12月期第2四半期業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正につきまして、併せてお知らせいたします。

記

2020年12月期 第2四半期(累計)業績予想数値と実績との差異(2020年1月1日～2020年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,100	100	100	70	20.94
今回実績(B)	2,244	150	154	109	32.67
増減額(B-A)	144	50	54	39	
増減率(%)	6.8	49.8	53.6	56.0	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2019年12月期 第2四半期)	3,058	393	402	279	83.29

2020年12月期 通期業績予想数値の修正(2020年1月1日～2020年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,800	500	500	350	104.68
今回修正予想(B)	4,000	200	240	170	50.85
増減額(B-A)	△ 800	△ 300	△ 260	△ 180	
増減率(%)	△ 16.7	△ 60.0	△ 52.0	△ 51.4	
(ご参考) 前期実績 (2019年12月期)	5,517	603	601	428	128.04

業績予想と実績との差異及び通期業績予想修正の理由

第2四半期累計期間につきましては、当初より需要の端境期となり厳しい見通しでありましたが、幸いにも新型コロナウイルスの影響もなく、半導体・FPD(液晶・有機EL)製造装置関連の売上高は若干増加し、固定費削減の努力の結果、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに当初予想を上回りました。

通期業績予想につきましては、主力製品である半導体・FPD(液晶・有機EL)製造装置関連は下期回復を見込んでおりましたが、一転大変厳しい状況となっております。新型コロナウイルス感染拡大により主要顧客に於ける工事の遅れ、投資の後倒しなどにより、売上高が大

幅に減少する見込みです。とりわけ第3四半期の落ち込みは大きく、第4四半期には若干持ち直すものの、従来予想には遠く及びません。従いまして通期の売上高、営業利益、経常利益、当期純利益ともに当初予想を下回る見込みとなりました。

※業績見通しは、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

以 上